



## 水素が「ライチェーン」実証



広報とみや10月号 別冊

# 平成29年度 富谷市決算・事業報告

平成29年度決算が、平成30年第3回富谷市議会定例会で認定されました。

皆さんに納めていただいた税金などがどのように使われ、まちづくりがどのように進められているか、お知らせします。

問 財政課 財務担当 ☎358-0619

### 一般会計の決算状況

歳入	139億9,916万円
歳出	132億3,456万円
翌年度に繰り越すべき財源	1億5,736万円
実質収支	6億 724万円

平成29年度の一般会計の決算は、歳入が139億9,916万円、歳出が132億3,456万円となり、前年度より歳入で0.8%、歳出で0.9%の増額となっています。これから平成30年度に繰り越した事業に必要な財源1億5,736万円を除いた実質的な収支は6億724万円の黒字となっています。この黒字分は平成30年度の事業に充てるほか、平成30年度以降に市のお金が不足する場合の貯金として、基金に積み立てました。

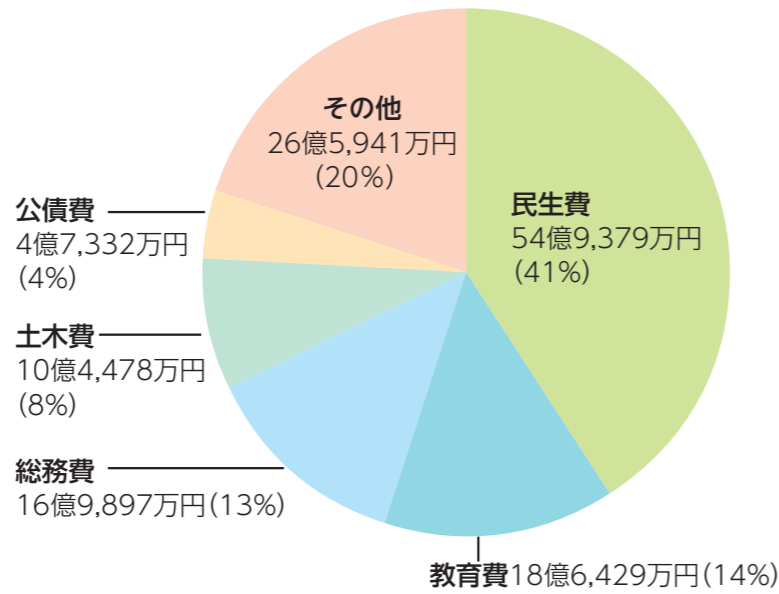
なお、本市の将来を見据え安定した行財政経営を図り、着実に施策を推進するため、全庁を挙げた「行政改革」に着手し取り組みを進めたことから、平成20年度決算以来となる「プライマリーバランス」と「基金残高」双方の黒字化を達成しました。



# 一般会計 歳出 132億3,456万円

歳出は、民生費が全体の約41%を占め、子ども手当の支給、市立保育所の管理運営や認可保育所への運営補助、障害者福祉事業や子ども医療費助成、生活保護費の支給などを行いました。

また、教育費では、市立小中学校の整備・管理運営などを行いました。



## 用語解説

- 民生費**  
児童・高齢者・障害者福祉、医療費など福祉全般の経費
- 教育費**  
小中学校・幼稚園の管理、生涯学習やスポーツ事業などの経費
- 総務費**  
防犯、交通安全、市民バスの運行などの経費
- 土木費**  
道路の管理や改良、市営住宅、公園管理などの経費
- 公債費**  
市が借りたお金やその利子を返還するための経費
- その他**  
衛生費、消防費、議会費、災害復旧費などの経費

## 市民1人あたりに換算すると…

項目	平成29年度	平成28年度
民生費	10万4,459円	10万4,467円
教育費	3万5,447円	3万6,836円
総務費	3万2,304円	3万4,803円
土木費	1万9,865円	2万 914円
公債費	9,000円	9,014円
その他	5万 566円	4万3,800円

※H30.3.31末現在の住民基本台帳人口 52,593人で算出しています。  
※H29.3.31末現在の住民基本台帳人口 52,484人で算出しています。

## 特別会計・水道事業会計の決算状況

### 特別会計

特定の事業を行うために、一般会計とは別に計上される会計を特別会計といいます。平成29年度は、4会計とも黒字決算となりました。

会計	収入済額	支出済額	内容
国民健康保険特別会計	43億8,952万円	42億8,402万円	医療費の支給、特定健康診査など
下水道事業特別会計	8億9,151万円	8億6,235万円	公共下水道の整備など
介護保険特別会計	25億 108万円	24億8,381万円	介護サービス給付費など
後期高齢者医療特別会計	3億2,743万円	3億1,791万円	後期高齢者医療広域連合への納付金など

### 水道事業会計

水道事業会計は、一般会計とは異なり企業会計の方式によって経営しています。安全でおいしい水道水を安定供給するために、水道施設の維持管理等を行っています。

区分	収入決算額	支出決算額	内容
収益的収支	11億2,948万円	10億8,768万円	収入のほとんどは水道料金。支出は受水費や固定資産の減価償却費など
資本的収支	0円	1億4,328万円	支出は施設整備と企業債償還等の資産取得など

## 自主財源

77億7,584万円(55%)

市税や使用料など、市が国に頼らず、自主的に調達できるお金のことです。この自主財源が多いと市の予算にゆとりが生じるため、歳入に占める割合ができるだけ高いことが望ましいとされています。

## 依存財源

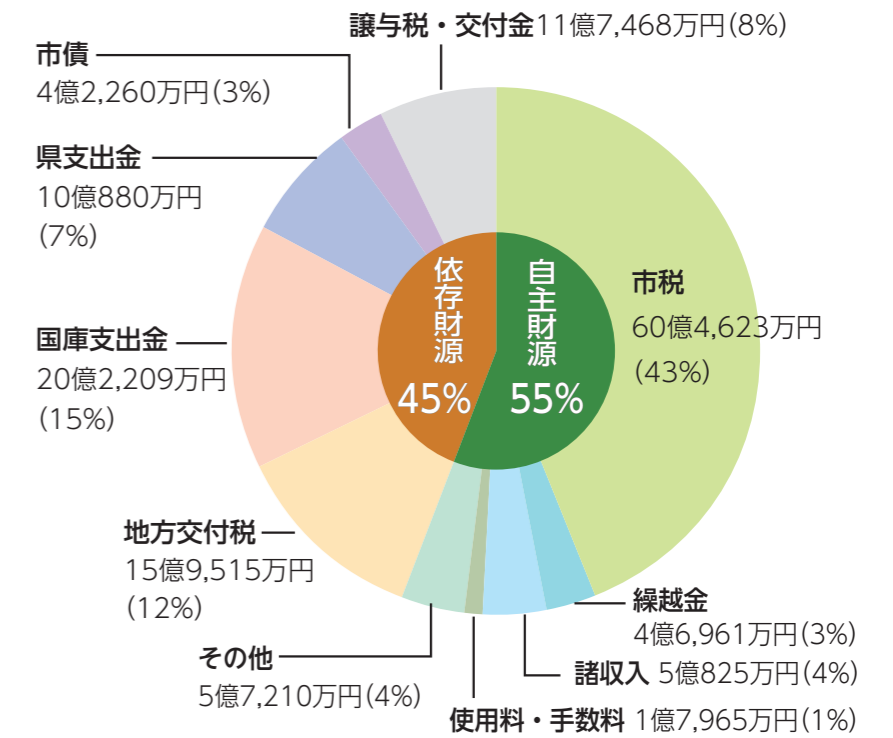
62億2,332万円(45%)

地方交付税や国・県支出金など、国・県の意思により交付されるお金のことです。また、市債も依存財源に該当します。

## 用語解説

- 市税**  
皆さんが市に納めた税金（市民税、固定資産税、軽自動車税など）です。
- 繰越金**  
平成28年度から平成29年度へ繰り越したお金です。
- 地方交付税**  
全国どこでも同じサービスが受けられるよう、国から配分されるお金です。
- 国・県支出金**  
国や県が使いみちを決めて交付するお金です。

# 一般会計 歳入 139億9,916万円



## 市民1人あたりに換算すると…

項目	平成29年度	平成28年度
市税	11万4,963円	11万2,137円
国・県支出金	5万7,629円	5万 2円
地方交付税	3万 330円	3万2,362円
市債	8,035円	1万2,446円
その他	5万5,222円	5万7,550円

※H30.3.31末現在の住民基本台帳人口 52,593人で算出しています。  
※H29.3.31末現在の住民基本台帳人口 52,484人で算出しています。

平成29年度  
黒字化達成

## 正味プライマリーバランスと基金残高の推移

### 起債発行額および公債費に係る収支（正味プライマリーバランス）の推移

(単位：千円)

年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
起債発行額：A	422,600	653,200	926,400	1,842,200	658,800
公債費：B	473,316	473,074	472,209	447,684	429,418
内訳					
元金	420,230	415,298	410,232	390,712	368,717
利子	53,086	57,776	61,977	56,972	60,701
正味プライマリーバランス C = B - A	50,716	△ 180,126	△ 454,191	△ 1,394,516	△ 229,382

※正味プライマリーバランス（本市独自財政分析用語）：公債費の支払額から起債発行額を差し引いたもの。

### 基金（特定目的基金）残高の推移

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
1. 財政調整基金	3,620,700	3,596,906	3,935,323	3,613,468	4,088,656
2. 減債基金	204,814	33,859	33,847	33,838	33,829
3. その他特定目的基金	2,669,282	2,737,529	2,742,503	2,492,240	2,289,490
合計	6,494,796	6,368,294	6,711,673	6,139,546	6,411,975
対前年度比増減額	126,502	△ 343,379	572,127	△ 272,429	248,410



# 平成29年度に実施した主な事業

富谷市総合計画の4つの基本方針ごとに事業を紹介します

## 2. 教育と子育て環境を誇るまち！

### (1)創造性豊かな教育環境のまちを創ります

**スクールソーシャルワーカー事業(学校教育課)**…190万円  
2名のソーシャルワーカーを配置し、小・中学校を定期的に巡回しながら、児童生徒が抱えるさまざまな問題等について、支援を行いました。

**外国青年招致事業(学校教育課)**……………2,333万円  
外国語指導助手(ALT)5名を活用し、言語、文化の理解や積極的なコミュニケーションの育成などに努めました。

**市立小学校英語等支援員配置業務(学校教育課)**…799万円  
平成32年度から実施される小学校の英語必修化に対応するため、全小学校に8人の英語等支援員を配置し、英語活動や国際理解教育を推進しました。

**中学生海外研修派遣事業(学校教育課)**……………702万円  
生徒25名(各中学校5名)が、地元の中学生との交流やショートホームステイ、現地日系企業訪問など、台湾台北市等で研修を行いました。

### (2)あらゆる世代が生きがいを感じて暮らせるまちを創ります

**生涯学習推進事業(生涯学習課)**……………1,580万円  
社会教育指導員等を配置し、生涯学習推進体制の充実を図りました。また、ワークショップやアイデアキャンプ等での意見を踏まえ、(仮称)新富谷市民図書館整備基本構想の策定を行い、図書館整備の方向性を決めました。



**総合運動公園運営・維持管理事業(生涯学習課)**…6,394万円  
トレーニング室利用者への指導業務を新規で行い、利用者の利便性の向上に努めました。また、全市民参加のイベントとして、市制施行1周年記念事業ラジオ体操会を実施し、体力づくりを推進しました。

**民俗ギャラリー運営・維持管理事業(生涯学習課)**……………1,293万円  
文化財の保護や啓発・周知を行うとともに、「内ヶ崎作三郎企画展」を開催するなど、民俗ギャラリーの運営に努めました。また、民俗ギャラリーのとみづら移転の準備を進めました。

### (3)地域で子育てを支えるまちを創ります

**認可保育所運営事業(子育て支援課)**……………7億3,204万円  
本市初となる認定子ども園が開所するなど、認可保育所運営事業者と連携し、保育ニーズに対応した保育環境の充実に努め、待機児童ゼロに取り組みました。

**保育所運営・維持管理事業(子育て支援課)**…1億3,731万円  
市立保育所の安定的な運営及び施設の維持管理、保育の質の向上に努め、適切な保育環境の確保を図りました。また、保育士の確保に努め、待機児童ゼロに取り組みました。



**小規模保育事業(子育て支援課)**……………3,438万円  
0歳から2歳の入所施設として、小規模保育施設整備の公募を行い、選定に至った2事業者により、2か所が整備されるなど、待機児童ゼロに取り組みました(宮城県設置の安心子ども基金を活用)。

**子育て支援事業(子育て支援課)**……………1,863万円  
とみや子育て支援センター(とみここ)を開所し、乳幼児健診や各種教室、育児相談等をスムーズな運営に努めるとともに、新たに子育て講座などを実施し、親子の交流機会を創出しました。



**放課後児童クラブ運営事業(子育て支援課)**…1億5,894万円  
市内8クラブの利用について、運営を民間事業者へ委託し、放課後児童の健全育成事業を推進しました。また、土曜日の利用や長期休業期間中の開始時間の繰り上げ、有料化などを実施しました。

**子ども医療費助成事業(子育て支援課)**…2億8,126万円  
18歳年度末までの子どもを持つ保護者に対し、医療費を助成しました。

## 1. 暮らしを自慢できるまち！

### (1)富谷で働くことにやりがいを実感できるまちを創ります

**富谷市まちづくり産業交流プラザ整備事業(産業観光課)**……………3億9,276万円

新たなにぎわいを生むまちづくりの発信拠点を目指して、旧役場庁舎をリノベーションし、創業支援・就労支援・地域貢献事業などを行う複合施設として整備しました(地方創生拠点整備交付金を活用)。



**企業誘致事業(産業観光課)**……………485万円  
立地企業2社に対し、奨励金により支援を行いました。また、宮城県企業立地セミナー(東京・名古屋)に参加し、トップセールスによる誘致活動を展開しました。

### (2)“とみやシティブランド”で自慢したくなるまちを創ります

**とみや国際スイーツ博覧会事業(産業観光課)**…2,607万円

コロンビア大使館や県内大学など産学官連携により博覧会を開催し、交流人口の拡大と「スイーツのまち=とみや」のPRにつなげました(地方創生推進交付金を活用)。



**ブルーベリー産地拡大事業(産業観光課・農林振興課)**……………140万円

栽培面積の拡大や販路拡大を図るため、苗木購入助成を行いました。また、ブルーベリーサポーターズを結成し、生産者の収穫作業等を支援しました。

**特産品定着推進事業(農林振興課)**……………89万円

はちみつが新たな特産品となるよう「はちみつプロジェクト」を開始しました。また、果樹の苗木や資材の購入助成を行いました。



**認定農業者育成事業(農林振興課)**……………285万円  
農業の後継者不足解消に向けて、担い手となる認定農業者や新規就農者の育成確保のため、関係機関と連携し支援を行いました。

### (3)安全で自由に移動できる便利なまちを創ります

**新公共交通システム推進事業(企画政策課)**……………778万円  
〔(仮称)富谷市公共交通ランドデザイン〕の策定に向けて、総合交通戦略や各種計画等を整理し、将来の都市交通体系のあり方を検討しました。

**市民バス乗り継ぎ実証運行事業(企画政策課)**…456万円  
泉中央駅への利便性向上を図るため、富谷市役所とイオン富谷店を拠点とした市民バスと宮城交通バスの乗り継ぎ実証運行を実施しました。



**市道穀田三ノ関線道路改良事業(都市整備課)**…1,224万円  
富谷小学校・富谷中学校周辺の朝夕に発生する慢性的な渋滞を解消するため、工事開始に向けた用地買収や物件補償を進めました。

**側溝整備事業(都市整備課)**……………8,595万円  
太子堂、富ヶ丘、鷹乃杜、とちの木の4地区等において、排水機能の改善と歩行者の安全を確保するため、工事計画箇所において有蓋化を実施しました。

**市道維持管理事業(都市整備課)**……………1億9,187万円  
市道において、側溝の破損や劣化した舗装の補修等の実施や冬期間における除雪・融雪剤散布を実施しました。

### (4)住み心地の良さを実感できる豊かなまちを創ります

**一般公園維持管理事業(都市計画課)**……………1億1,203万円  
市民の憩いや交流の場、健康づくりの場として広く活用されるよう、ニーズに応じた公園・緑地の整備等に努めました。

**上水道施設維持管理業務(上下水道課)**…2億3,241万円  
水道水の安定供給を図るため、配水池やポンプ場などの機器や道路に埋設された配水管等の適正な維持・管理に努めました。

**下水道施設維持管理業務(上下水道課)**…1億6,817万円  
成田第1汚水中継ポンプ場ゲート設備改築工事、富谷1号汚水幹線人孔改築工事を実施するなど、下水道施設の適正な維持・管理に努めました。



## 4. 市民の思いを協働でつくるまち！

### (1) 日常生活が安全で包まれたまちを創ります

#### 自主防災組織育成推進業務（防災安全課）…… 173万円

町内会や自主防災組織を結成している地域の防災活動を支援するため、備蓄物品の購入費用や防災訓練に係る経費を支援するとともに、自主防災組織の結成を推進しました。



#### 住宅地震対策事業（都市計画課）…… 63万円

昭和56年以前に建築された木造住宅の耐震診断について、助成を行いました。また、通学路や避難路の沿道を中心に、倒壊の危険性のあるブロック塀の除却や生垣等への切替について助成を行いました。

#### 防犯灯整備事業（都市整備課）…… 2,797万円

防犯灯を新設するとともに、二酸化炭素排出量の削減と各種コストの縮減も考慮して1,008灯のLED化を進め、通学路や生活道路における防犯対策を推進しました。

### (2) 持続可能な都市環境がブランドになるまちを創ります

#### 一般廃棄物収集運搬処理事業（生活環境課）… 2億2,758万円

廃棄物の処理及び清掃に関する法律や資源有効利用促進法に基づき、効率的に収集・運搬を行い、適正処理に努めました。

#### リサイクル推進事業（生活環境課）…… 726万円

排出されるごみの再資源化を推進し、ごみの減量化を図るため、分別収集されるごみのほか、直接搬入されるごみについても積極的に資源化を実施しました。また、水銀含有物収集のモデル事業を行い、適正排出の啓発に努めました。



#### 環境省公募「地域連携・低炭素水素技術実証事業」

#### （企画政策課）…… 34万円

環境省公募「地域連携・低炭素水素技術実証事業」について、日立製作所、丸紅、みやぎ生活協同組合、本市が共同申請した「富谷市における既存物流網と純水素燃料電池を活用した低炭素水素サプライチェーン実証」が採択され、関係機器の整備・構築に向けた取り組みを行いました（実証期間：H29～H31年度）。また、セミナーを開催するなど、水素エネルギーの啓発に努めました。

### (3) 健全なまちづくりに向けてみんなが協働するまちを創ります

#### 広報・広聴事業

- ・ **広報とみや発行等（市長公室）** …… 1,149万円  
「広報とみや」を毎月発行し、市政に関する情報等を発信しました。フェイスブックやツイッターに加え、市公式のインスタグラムを開設するなど、SNSを活用して富谷市を積極的にPRしました。



- ・ **わくわく市民会議（市民協働課）** …… 5万円  
市民が集い、まちづくりに関するさまざまなテーマについて、想いや願いを自由に意見提案ができる場として「とみやわくわく市民会議」を年4回開催し、市民の声が届く市政運営に努めました。



#### 町内会館整備事業（市民協働課）…… 199万円

穀田会館建設に向けて設計業務や地質調査を実施し、計画的な会館建設に取り組みました。

#### 行財政改革推進事業（行政改革推進室）…… 12万円

行政改革を推進するため、行政改革懇談会やパブリックコメントなどの意見を反映し、行政改革基本方針および実施プランを策定しました。また、全ての事務事業の見直しを行い、昭和58年度以来、35年ぶりに財政調整基金からの繰入金を計上せずに、平成30年度当初予算を編成しました。

#### 職員スキルアップ事業（総務課）…… 266万円

市制施行に伴い、高度化・複雑多様化する住民ニーズに的確かつ迅速な対応ができる人材の育成を図るため、職員のキャリアや担当業務に応じた各種研修を積極的に実施しました。

## 3. 元気と温かい心で支えるまち！

### (1) あらゆる世代が元気に暮らす健康自慢のまちを創ります

#### 福祉健康センター管理事業（長寿福祉課）…… 2,025万円

高齢者の介護予防の拠点として、転ばぬ先の足腰教室や季節行事を事業に取り入れながら、介護予防や健康づくりに取り組みました。また指定管理者制度へ移行し、適切な運営に努めました。

#### 高齢者交流事業（長寿福祉課）…… 257万円

高齢者の生きがい・仲間づくりの推進、心身の健康の維持を目指し、「ゆとりすとクラブ・サロン」の運営を支援しました（明石地区にゆとりすとサロンが誕生し、市内21か所で開催）。



#### 介護予防・日常生活支援サービス事業（長寿福祉課）

- ・ **筋トレ型通所・サロン型通所等** …… 2,706万円  
社会福祉協議会や介護予防事業所に業務を委託し、心身機能の維持増進を図り、市民の協力を得ながら事業を実施しました。
- ・ **生活支援型訪問等** …… 270万円  
社会福祉協議会に業務を委託し、担い手である生活支援員を育成しながら、要支援相当の家事支援が必要な高齢者を対象に、自立した生活に向けた支援を行いました。また、生活支援員養成研修を開催し、市民が市民を支える体制を推進しました。



#### 地域包括支援センター運営事業（長寿福祉課）… 3,614万円

3つの生活圏域に設置した地域包括支援センターにおいて、総合相談・権利擁護・介護予防ケアマネジメント等に取り組みました。

#### 住民検診事業（健康推進課）…… 1億6,044万円

休日・夜間検診や胃がん未検者検診の実施、子宮がん検診と乳がん検診の無料クーポンを発行するなど、受診率向上に取り組みました。また、精密検査対象者への受診勧奨および受診状況の把握を行い、早期治療・重症化予防に努めました。

#### 健康づくり事業（健康推進課）…… 195万円

高血圧予防を重点的に、健康推進員や関係機関・団体と連携し、適塩の推進・家庭血圧計利用の普及に努めました。また、歯周疾患予防をテーマに、市民公開講座の開催や生活習慣病予防教室の実施、こころの健康づくりについて普及啓発に努めました。



#### 地域医療推進事業（健康推進課）…… 4,822万円

公立黒川病院の安定的な運営および維持管理に要する費用の一部を負担するとともに、医師会・地域の医療機関と連携して休日当番医事業を行い、医療環境整備に努めました。また救急電話相談窓口「こども夜間安心安全コール」や「おとなの救急電話相談」の利用を促進しました。

### (2) 高齢者も障がい者も安心して暮らせるまちを創ります

#### 障がい者就労支援事業（地域福祉課）…… 1,845万円

富谷市地域活動支援センターの運営を指定管理者制度により社会福祉協議会へ委託し、日常生活の充実に努めました。また、障がい者の雇用拡大のため、新たに就労移行支援事業所の1事業所と就労継続支援施設B型の1施設が開設されました。

#### 高齢者・障がい者交通対策事業

- ・ **高齢者分（長寿福祉課）** …… 2,108万円
  - ・ **障がい者分（地域福祉課）** …… 287万円
- 70歳以上の公共交通機関の利用が可能な方や18歳以上の障がい者手帳所持の方を対象として、高齢者・障がい者外出支援乗車証「とみばす」を交付しました。



### (3) 身近なコミュニティがみんなの支えになるまちを創ります

#### 自治振興事業（市民協働課）…… 1,613万円

45町内会の運営に対して補助金を交付し、地域活動の充実・強化を図りました。また、町内会の設立準備に要する経費に対して補助金を交付し、新たな町内会の設立につながりました。

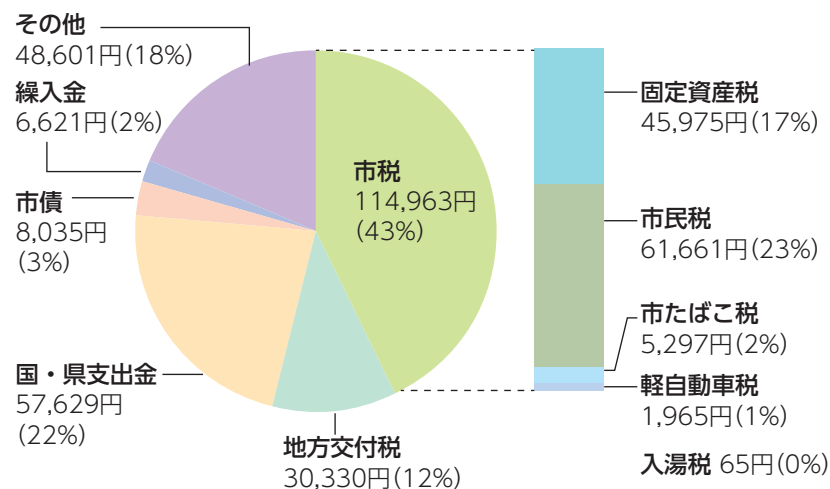




## 税金の負担額および使用額

一人当たりの負担額…11万4,963円

一人当たりの歳入額…26万6,179円



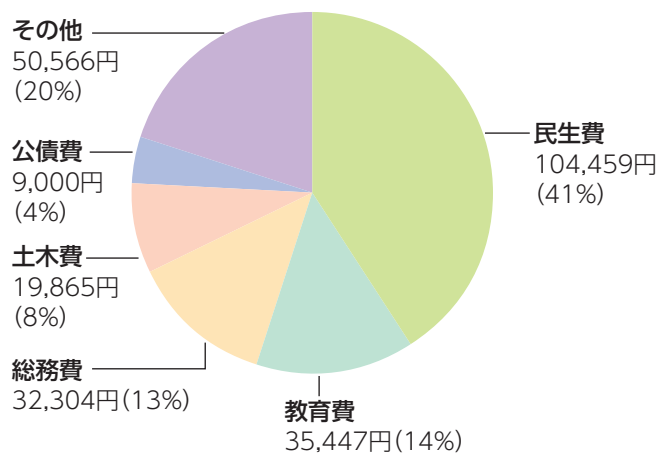
### 市民一人当たりの負担額は？

平成29年度の税収を一人当たり直してみると、市民税や固定資産税などの市税が、11万4,963円となりました。

それに対して一人当たりの歳出は25万1,641円となっています。

その差額の部分を、地方交付税・国県支出金などの国や県から交付されるお金や、家庭で言えばローンにあたる地方債を借入れしたり、貯金にあたる基金を取り崩して補っています。

一人当たりに使われたお金…25万1,641円



### 市民一人に、どれくらいのお金が使われたの？

一人当たりに使われたお金を主な目的別で見ると、児童手当支給事業、障害者自立支援給付事業などの民生費で10万4,459円、市立小中学校や学校給食センター運営・維持管理事業などの教育費で3万5,447円、市民バス運営事業などの総務費で3万2,304円、市道の維持管理事業や公園の維持管理事業などの土木費で1万9,865円、地方債の償還費用として公債費で9,000円となり、全体として一人当たりに使われたお金は25万1,641円となりました。

## 健全な財政運営に努めています

### 健全化判断比率・資金不足比率

富谷市は、早期健全化基準を大きく下回り、昨年度に引き続き健全な財政運営を行っています。

- 健全化判断比率 一つでも早期健全化基準を超えた場合、財政健全化計画の作成が義務付けられるなど、自主的な改善努力による財政健全化が求められます。

区分	富谷市	早期健全化基準	内容
実質赤字比率	—	13.52	一般会計の実質赤字額の標準財政規模に対する比率
連結実質赤字比率	—	18.52	すべての会計の実質赤字額の標準財政規模に対する比率
実質公債費比率	▲2.1	25.0	公債費・公債費に準じた経費の標準財政規模に対する比率
将来負担比率	—	350.0	地方債の残高のほか、将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

- 資金不足比率

富谷市の公営企業会計（水道事業、下水道事業）は、資金不足比率が算定されませんでした。

健全化判断比率と資金不足比率は、自治体の財政健全化度を判断する新たな指標です。基準を超えた場合は、一般会計のほか特別会計や公営企業会計なども含めた財政健全化への取り組みが必要となります。